

決算説明会 -2019年3月期-

2019年5月23日（木）



空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

「私たちの使命」

空港を拠点とする活力ある民間企業として、
空港に必要な施設と機能を創造し提供する役割を担い、
航空の発展に貢献します。

機内食工場【東京国際空港】



コンテナメンテナンスビル【東京国際空港】



格納庫【北九州空港】



ヘリコプター整備施設【カナダ・ラングリー空港】



目 次

- I. 2019年3月期 連結決算概要 . . . P1
- II. 2020年3月期 連結業績予想 . . . P6

I. 2019年3月期 連結決算概要

～ポイント～

(中期経営計画 最終年度)

1. 売上高・営業利益が中期経営計画の数値を上回る

※売上高増加の主な要因（不動産賃貸事業）

- ① 羽田空港内の入居改善
- ② 北九州空港格納庫の通年稼働
- ③ 京都のホテルの賃貸開始
- ④ カナダ子会社の連結寄与

2. 売上高242億円（対前年同期比6.2%増）、営業利益41億円（対前年同期比0.6%増） 純利益※21億円（対前年同期比5.2%減）

※純利益減少の主な要因

- ① 今後の新規案件の建設・増改築等に備えた撤去費用引当金の計上 《営業外費用》
（機内食工場、機用品倉庫、熱供給施設用設備）
- ② 京都のホテル向け社債発行費用の計上 《営業外費用》
- ③ 国の新貴賓室設置に伴う貨物施設（1棟）の除却損の計上 《特別損失》

3. 期末配当金7円（予定）、年間配当金14円 配当性向（連結）33.1%（予定）

※純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

I. 2019年3月期 連結決算概要

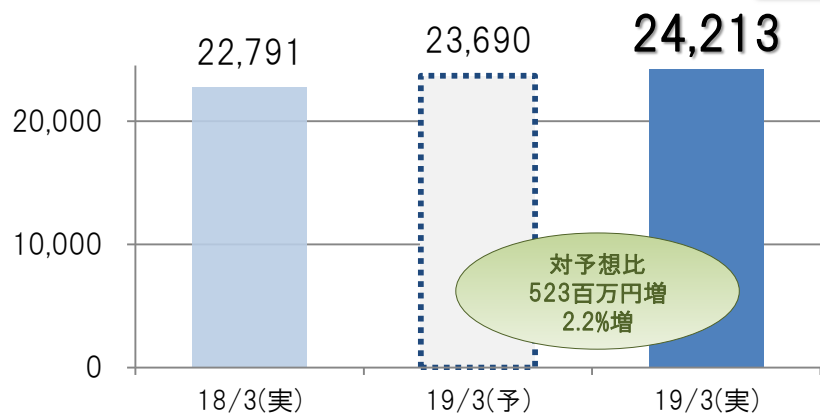
単位：百万円

～連結PL～

9年ぶり（2010年3月期）に売上高が240億円を突破

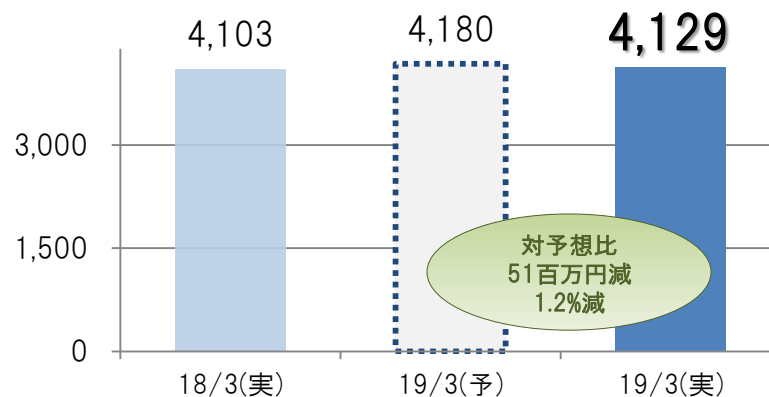
売上高

対前年同期比
1,422百万円増
6.2%増



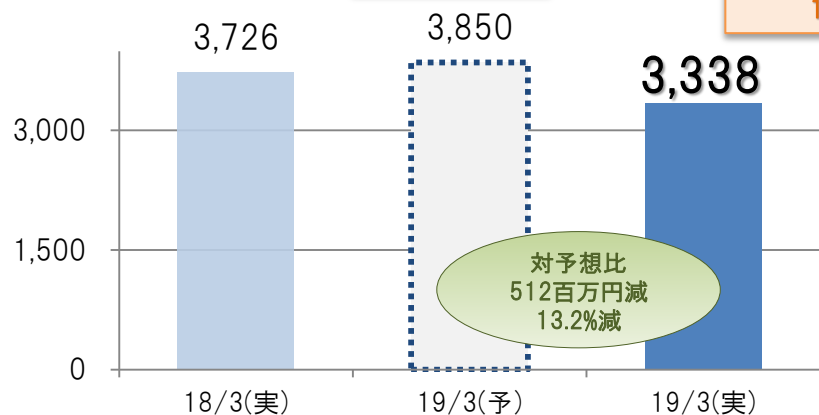
営業利益

対前年同期比
26百万円増
0.6%増



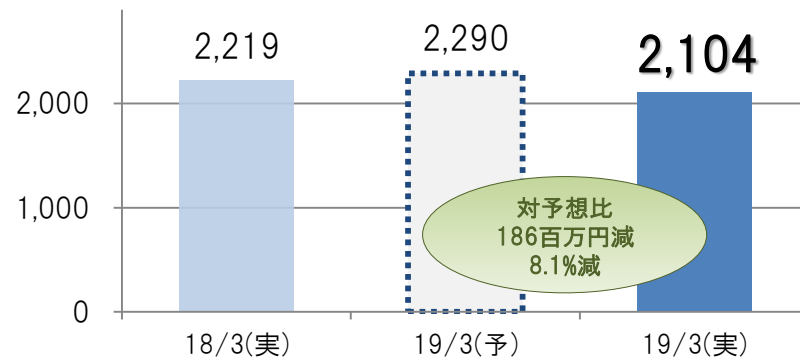
経常利益

対前年同期比
388百万円減
10.4%減



親会社株主に帰属する 当期純利益

対前年同期比
115百万円減
5.2%減



I. 2019年3月期 連結決算概要

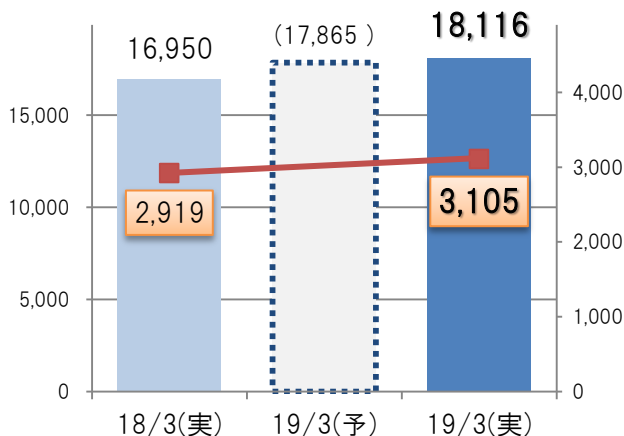
単位：百万円

～セグメント別～

■：売上高（棒グラフ）
■：営業利益（折線グラフ）

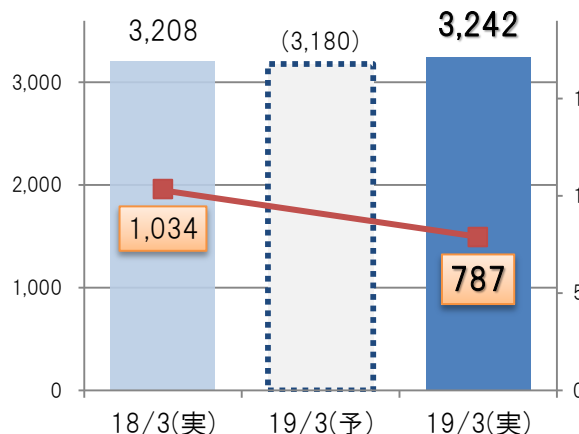
不動産賃貸事業

対前年同期比
(売上高) 1,166百万円増 (6.8%増)
(営業利益) 185百万円増 (6.3%増)



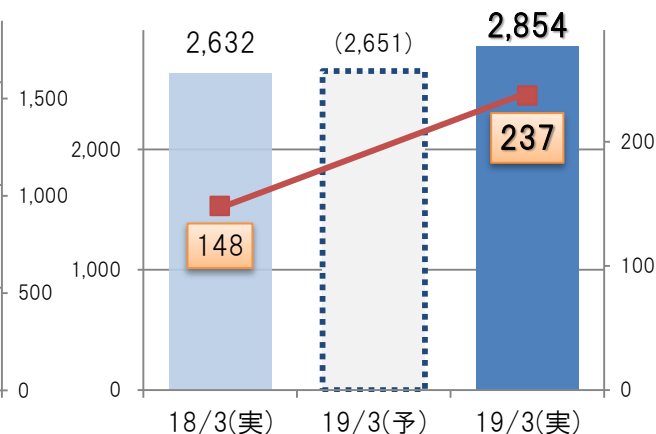
熱供給事業

対前年同期比
(売上高) 33百万円増 (1.0%増)
(営業利益) 247百万円減 (23.9%減)



給排水運営その他事業

対前年同期比
(売上高) 222百万円増 (8.4%増)
(営業利益) 88百万円増 (59.2%増)



＜主な増減要因＞

【売上高】

- ・羽田空港内の入居改善
- ・北九州空港格納庫の通年稼働
- ・共同住宅の提供開始、京都でのホテルの新規稼働
- ・カナダ子会社 (AFN) の連結寄与

【売上高】

- ・羽田空港沖合地区の地域冷暖房売上はほぼ横ばい
※夏季猛暑、冬季暖冬によるもの

【売上高】

- ・羽田空港内各種工事への水供給の増加
- ・太陽光発電設備の順調な稼働 (大田区平和島)

【営業利益】

- ・償却費等が増加したものの売上増の効果により増加

【営業利益】

- ・電気、ガス料金の単価上昇による費用増により減少

【営業利益】

- ・売上増の効果により増加

I. 2019年3月期 連結決算概要

～財務状況～

【連結貸借対照表】

(資産) 京都のホテル5棟の取得等により増加

(負債) 京都のホテル取得に伴う社債の発行と長期借入金の増加等により増加

(純資産) 利益剰余金の増加等により増加

2018年3月期

2019年3月期

単位：百万円

前事業年度比
13,422
百万円増

単位：百万円

流動資産	17,531	流動負債	10,050
		固定負債	23,428
固定資産	70,430	負債合計	33,479
		純資産	54,482
資産合計	87,961	負債純資産合計	87,961

流動資産	20,844 (+3,313)	流動負債	11,192 (+1,142)
		固定負債	34,451 (+11,023)
固定資産	80,539 (+10,109)	負債合計	45,644 (+12,165)
		純資産	55,740 (+1,257)
資産合計	101,384 (+13,422)	負債純資産合計	101,384 (+13,422)

1株当たり純資産	1,050円
自己資本比率	59.4%

1株当たり純資産	1,072円
自己資本比率	52.6%

I. 2019年3月期 連結決算概要

～財務状況～

【連結キャッシュ・フロー】

単位：百万円

科 目	2018年3月期	2019年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,147	5,176	△1,971
投資活動によるキャッシュ・フロー(△は増加)	△5,383	△13,490	△8,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,909	9,524	12,433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,105	1,167	2,272
現金及び現金同等物の期首残高	5,713	4,608	△1,105
現金及び現金同等物の期末残高	4,608	5,824	1,216

【主な増減要因】

営業活動によるキャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益による収入と、海外子会社での営業貸付金の増加に伴う支出、その他資産の取得に伴う支出等により減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	京都のホテル5棟の固定資産取得により増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	京都のホテル取得に伴う社債の発行と長期借入金の増加により増加

Ⅱ. 2020年3月期 連結業績予想

～ポイント～

1. 新規施設提供（羽田・地方）、京都のホテルの通年稼働
⇒売上・利益の増加を見込む

2. 売上高247億円（対前年同期比2.2%増）、営業利益41億円（対前年同期比0.8%増）
純利益※23億円（対前年同期比10.2%増）

3. 安定的かつ持続的な株主還元を目指す

- ・年間配当金14円（予定）（中間配当金7円、期末配当金7円）
- ・配当性向（連結） 30.0%（予定）

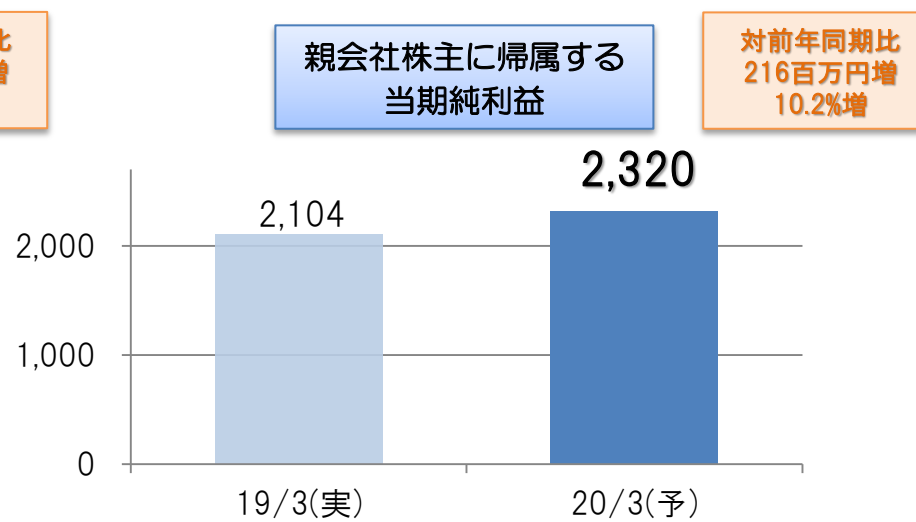
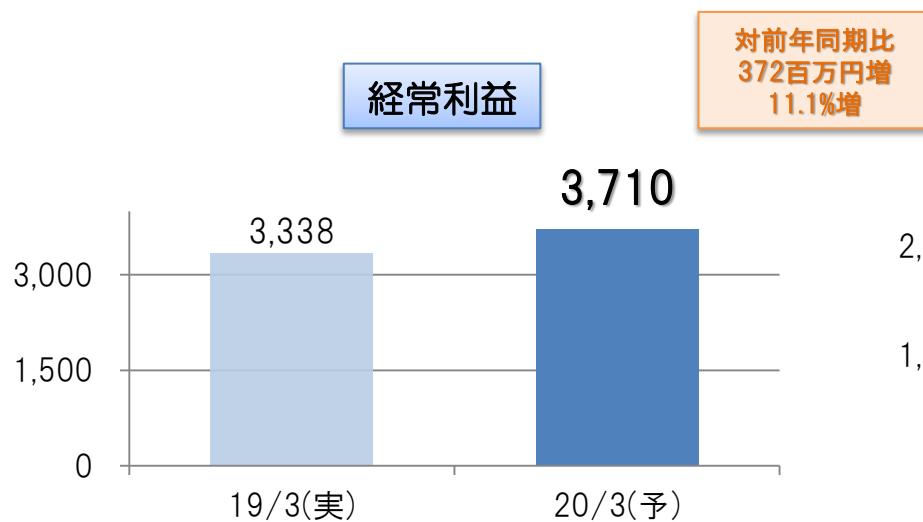
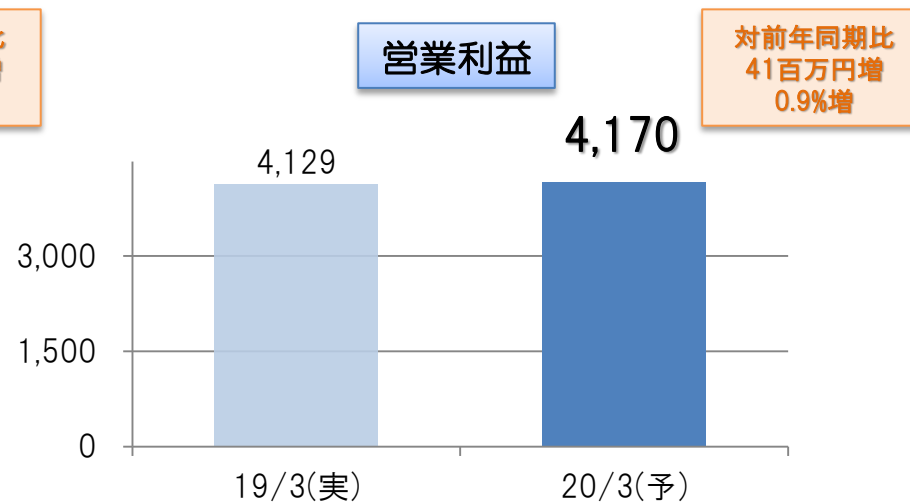
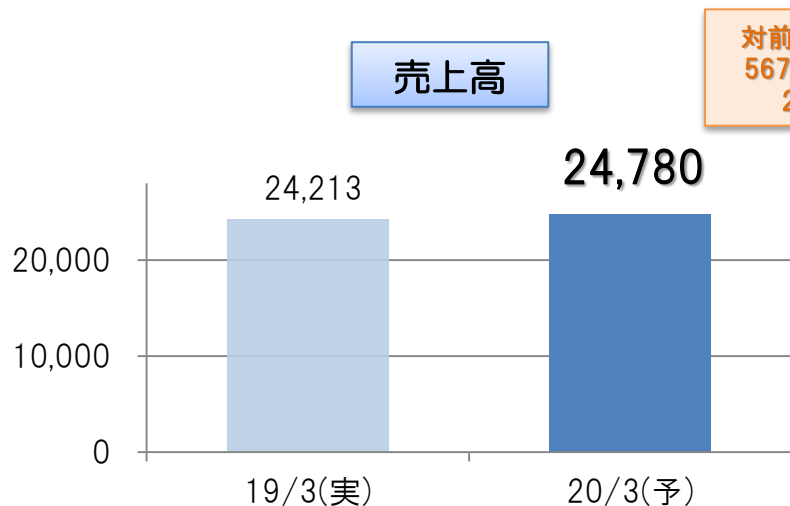
※純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

Ⅱ. 2020年3月期 連結業績予想

単位：百万円

～連結PL～

積極的な新規投資を実施、着実な増収・増益を図る



Ⅱ. 2020年3月期 連結業績予想

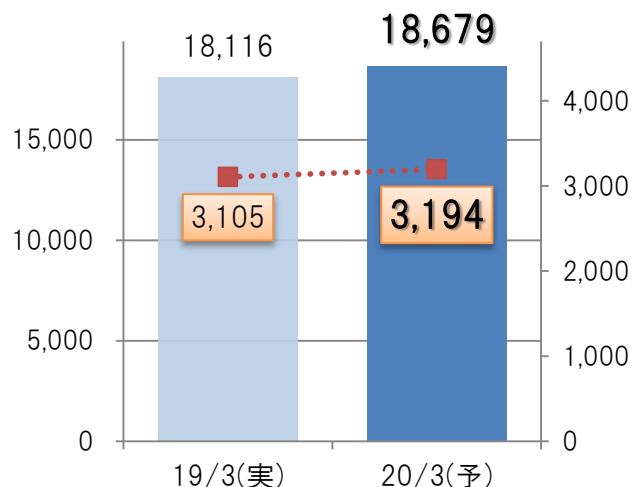
単位：百万円

～セグメント別～

■：売上高（棒グラフ）
■：営業利益（折線グラフ）

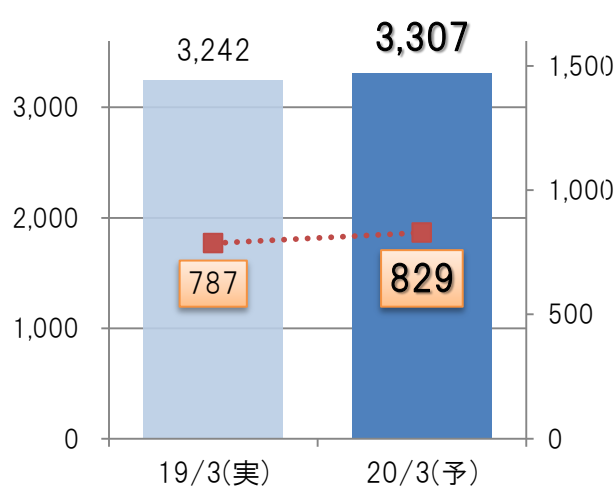
不動産賃貸事業

対前年同期比
（売上高）563百万円増（3.1%増）
（営業利益）89百万円増（2.8%増）



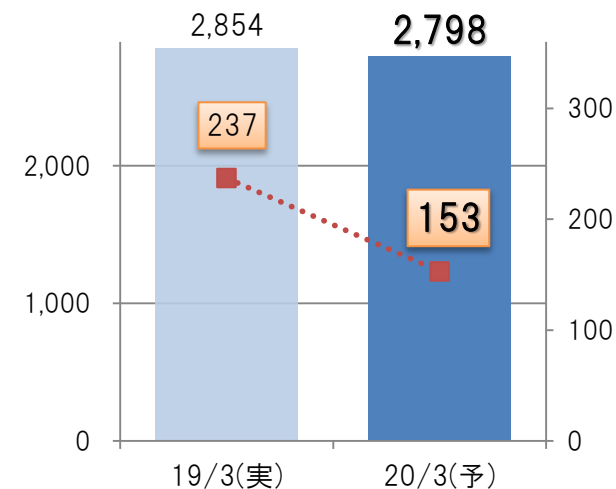
熱供給事業

対前年同期比
（売上高）65百万円増（2.0%増）
（営業利益）42百万円増（5.3%増）



給排水運営その他事業

対前年同期比
（売上高）56百万円減（1.9%減）
（営業利益）84百万円減（35.4%減）



《主な増減要因》

【売上高】

- ・羽田空港内での施設提供(機内食工場、機用品倉庫)
- ・地方空港での施設提供(神戸、福岡)及び新規リース
- ・京都のホテルの通年稼働

【売上高】

- ・羽田空港沖合地区の地域冷暖房売上が堅調に推移(過去3年間の供給量の平均値に基づき算出)
- ・新規施設への供給を見込む

【売上高】

- ・太陽光発電設備の順調な稼働
- ・羽田空港内での工事用水の利用が減少

【営業利益】

- ・売上増の効果を見込み増加

【営業利益】

- ・売上増の効果を見込み増加

【営業利益】

- ・羽田空港内での工事用水の利用減のため減少

免責事項

ご注意

- 本資料は、投資勧誘の目的のための資料ではありません。
- 将来に関する部分については、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、事業環境の変化などによって異なる結果になる可能性があります。
- 投資等に関する重要な決定は、ご利用者のご判断でお願い申し上げます。

本資料は、ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.afc.jp/>

お問い合わせ先

空港施設株式会社 広報室

TEL : 03-3747-0253

FAX : 03-3747-0225

E-MAIL : afc@afc.jp